



この特別委員会における審議の経過と結果についてお知らせします。

質疑の内容(抜粋)

質問 示された売り上げ目標が、計画通りに達成できるのか。確固たる根拠をもって積み上げたものか。

説明 今回の計画では、売上は実績ベースで考えている。売上の数値は担保できないが、増額を目標に数値を設定している。

質問 町の財政について、この支援計画を實行できるか、危惧する。

説明 財調の取り崩しは、約10億円程度となる。

最初の5カ年で、13億5,000万円特別会計に繰出す。平成17年度は2億3,000万円財調を取り崩す。

質問 開発公社から示された今後の売り上げ計画について、達成できるのか、疑問である。

説明 今回の資料では、

5年間の夏季、冬季の個別の事業ごと数字を出している。推計として平成18年度は、冬6億6,000万円、夏1億8,000万円、平成19年度は、1,000万円増の8億5,000万円とした。

川崎の中学生団体22校から27校へ増加となるため、1,300万円、マウンテンバイクリピーター増で500万円増を見込む。アツモリソウ展の2週間開催で2,600万円売上を見込む。

ナイター実施で、増額を目指す。冬の観光対策でも増を目指す。

質問 議員によるパノラマの営業に関する意見を取り入れての検討、議会との協議を定期的に持つてもらいたい。

説明 応援団、検討委員会もあるが、現場にも携わってもらう機会を作りたい。

質問 出資者の責任を追究してもよいのでは。

説明 出資者とは交渉を継続している。今回の計画提示の際、「はつきりした対応に出る」との、返事を受けている。

質問 来年、営業成績が悪かったら、もっと投資していくのか。

説明 一年いけなかっただけで抜本的な見直しをするのかは案が無ければならないので、その決断をするときには、議会に諮っていきたい。

一年間で判断するのは危険で、2、3年の状況を見る必要がある。

現在の計画であれば公社は1億5,000万円は返済できるが町の財政的な部分もあるので、単年度で判断するのは危険である。

臨時議会において特別委員会に付託された事件は、

- ・ 議案第1号
富士見町観光施設貸付事業特別会計への繰り入れについて

- ・ 議案第2号
平成17年度富士見町一般会計補正予算(第6号)について

- ・ 議案第3号
平成17年度富士見町観光施設貸付事業特別会計補正予算(第1号)について

いずれも賛成多数で、可決されました。